



RI 会長テーマ

2014~2015 年度

大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

会長 上野 哲

副会長 錦山 功

幹事 休石 正基



会長テーマ

ノーマライゼーションの推進を

5月第4週例会 2015年5月28日(木)

ソング : 奉仕の理想 ボックス : 28,000 円 (報告者 志田成樹会員)
 本日出席率 : 62.75% 前回修正後100% (メ・キャップ 17名) (報告者 前野良夫会員)

★ 会長の時間 上野 哲会長



こんにちは

毎回、お聞き苦しい声で失礼しておりますが、五月も終わり、残りの会長の時間も、実質あと3回となりました。もう少しだけがまんをお願い致します。

今日は齊藤さんに関係した話を致します。

(1964年)日本で初めて開催された、東京オリンピックがマスコミなどで取り上げられているようです。オリンピックへの啓発・啓蒙活動の一環でしょうか？

先日のテレビで、その時の柔道の試合をしておりました。

無差別級のアントン・ヘーシンクと神永昭夫氏との決勝試合でした。

ヘーシンクは身長 198 cm 体重 120 kg 神永 178 cm 102 kg 身体の差は歴然としていました。結果ヘーシンクの勝利、金メダルとなりました。

日本の歴史ある武道の柔道が、外国人に敗北したショックは計りしれません。

しかし、嬉しくも、悲しくも、ここから日本の柔道が、世界の「JUDO」になっていくこととなる訳です。今や国際的になり、柔道着はカラーになり、試合も本来の技とは、かけ離れたようなポイントで、勝者が決まるようになって来ました。

私からみれば、本来の柔道とは、違う方向に流れているのではないのかなあ・・・と疑問を感じることもあります。

話を戻しますが、試合の映像で、日本とオランダで放映された内容が、違うことがわかりました。オランダの映像では、神永が「体落とし」の技をかけましたが、そこを逆に、ヘーシングに「押しえ込み」をされてしまいました。勝利する寸前に、こうして手を振っている、しぐさが写っていました。日本で放映された、映像には最後まで写っていませんでした。

オランダの映像ではその勝利の前に、十数人が、土足で競技中の畳に駆け上がろうとしておりました。それをヘーシングが、試合中で有りながら、入ってくるな！と、止めておったんです。ヘーシングは試合後に「柔道の精神」にそぐわない行為に、たいへん立腹し、その後柔道のことについての理解を深めるため、世界各地で広報活動を行ってきました。

外国の人には、まだ「柔道の精神」が、理解できない時代でもあったようです。

2020年、5年後の東京オリンピックは、日本発祥でもある、本来の柔道に戻すような方向で検討しているようです。このまゝでは、「技」一つとっても、なんの格闘技か理解できないこともあるからです。たとえば、畳は本物を使うとか、柔道着の色とか、ポイントのこと、など様々検討中なようです。本来の柔道の意味が、世界中に理解されるようになれば嬉しいですね。

日本には「道」(ド)のつく、武道や文化が、数多くございます。高木さん！数えているようですがいかがでしょう？

武道は、柔道・剣道・空手道・合気道・弓道・居合道・殺陣道・相撲道・長刀道(なぎなた)
テコン道・杖道。文化的なことは、茶道・華道・書道・香道、などございます。

「どう」「みち」と言う言葉をよく使います。では「道」とはなんでしょう？

これは、藤原俊三の思想の中で解説しています。簡単に申せば、「守破難」(しゅはり)とは、「守って・破って・離れる」のでは無く、「守って型に着き・破って型へ出て・離れて型を生む」という意味なそうですが、わかりにくいですね。

ソウル五輪女子柔道銅メダリスト、山口香さん(築波大学大学院 准教授)のスポーツから見た日本の強みと弱み「道の文化と指導法」の卓話の中に「守破難」という言葉で解説しています。

「守」は、型にはめる、基本、基礎、物事の判断基準や物差しとなる土台をつくる。

「破」は、基本を元にして、自分の味を付ける、

「離」は、基本を学び、殻を破って自分の個性を身につける過程で学んだことは、

今後の人生でどこの社会、どこの道に行っても応用が利くということである。

一言では言い尽くせない深い意味があるようです。

「道」は、人として、修業を目的として行う、専門分野を示すことばとして、使われています。何事でも、習い始めて努力を重ねれば、その分野での技を磨くことができます。それには終わりはありません。修業して技が高まり人格の向上につながるこそそれが「道」の特徴です。

日本人の武士道についても、世界に注目をされております。

大震災の時、被災者が暴動、略奪をすることもなく、ひたすら耐え忍んでいる姿や、お互いの、恵み合い、助け合い、の東北人心が、凜とした武士道を、世界の人々から、尊敬の念をもって賞賛されました。

ところで、当クラブで柔道をしたことがある方はどなたかおられますか？私は中学から高校一学期で鎖骨を折って辞めました。

新会員の皆さんはご存知ですか？齊藤さんが柔道の高段者であることを、たしか6~7段だと思いましたが？ちなみに齊藤さんと私の違いは、私は中途半端で止めた道を踏み外した、無段者であり、齊藤さんは道を究めた、有段者段であります。結果ごらんのとおりでございます。

皆さんはどんな道を求め、どんな道を歩んで行くのでしょうか？

私は、せっかくの人生、正々堂々と胸を張って正道を歩んで行きたいと思っております。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ロータリー日本事務局より

6月のレート 1ドル118円との連絡と寄付送金は出来るだけ6月19日までに
お願いしますとの連絡が届いています。

2 故山口昭一様宅より 弔電をお送りした事への礼状が届いています。

3 2015-2016年度第3分区ガバナー補佐 千田勝治様より

次年度ガバナー公式訪問日程承認伺いが届いています。

当クラブ 9月10日(木)17時～ 回答締切 6月15日

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

ミーティング報告

テーマ：復興への取り組み方について

★3班 出席者： 発表者 高木久子・班長 門田崇・松岡克之・伊勢重徳・船砥俊昭・橋爪文人・休石正基
今野勇・菊地弘郎・水野賢一・高田愛三・前原汪子



場 所：盛町 栄寿司

全国から頂いた支援、西 RC そのものへの支援、地域への支援等々膨大な支援を頂いていることにあらためて感謝をしたい。今後は、その支援に対してお返しをするという事を考慮しなければならないので、これからの方たちが大変になるであろう。他クラブから、地区に対して「もう少し考えてもらいたい」という意見が出ているそうですが、各々のクラブでやりくりするしかないのではないのでしょうか？ 当初は、復興委員会が役目で活動してきましたが、現在は社会奉仕委員会が引き継いでおります。今後の西 RC としては、支援を頂いたところとは一方通行に終わらず交流を続け、更なる活動状況の報告をする必要があると3班では一致しました。

ミーティングの後半は、伊勢会員による姫路城から出雲大社に行ってきた楽しいお話を聞かせて頂きました。その時に詠った川柳2句をご披露頂きました。

白鷺の 白髪のような 姫路城 八雲立つ 出雲の今日は 雲がない
船砥会員の、来年5月29日～6月1日の韓国ソウルでの世界大会には、西 RC から是非20名は参加しようとして声高らかな締め言葉で盛会裏に終了しました。

他のクラブにはあまりないこのグループミーティングは、私達のコミュニケーションを図るとても良い制度だと私は改めて思っています。きっと皆さんもそうだと思います。

★2班 出席者： 発表者志田成樹・班長佐々木幹子・新沼湧一・藤原太伸・濱守豊秋・菅野富久子
伊藤安秋・千田喜一郎・山田喜美雄・齊藤俊明・山口ひとみ・佐藤良



場 所：大船渡町 いろは寿司

1. 復興整備が終了したら、昭和54年5月 佐々木行男会長時代に植樹した、盛川堤のソメイヨシノの桜並木を植樹したらどうか
2. ホームページで、当市の復興状況を発信してはどうか
3. 支援を頂いたクラブへのお礼文書等を津波襲来日に5～6年程度発送してはどうか
4. まだ復興途上の各仮設店舗等のイベントに参加し、当クラブの PR をする。(各委員会の年間行事に組み込んでどうか。)
5. 被災者が困っている問題点・課題転倒を把握し、復興支援の検討をして、出来るものは各委員会の年間行事に組み入れてはどうか。
6. 地元企業が、頑張って雇用の拡大をし、人口の流出を防ぎ、人口20万都市をめざす。
7. 伝統文化の継承。
8. ガバナー、市長を利用して、岩手・宮城の連携をしたらどうか。
9. 支援が来たら考える。

★1班 出席者：発表者 大西竜介班長 前野良夫・山口康文・菊池優巧・金比呂正・新沼福三
上野哲・鈴木信男・浜田浩誠・新沼敏宏・池田義弘・紀室綾子・田邊茂昭



場 所：夢商店街内ハイズ・カフェ

大船渡西ロータリークラブとしての復興の取り組みとしては、色々な活動を積極的に行ってきている。特にもいち早く末崎に野球場を造り子供達に運動の場を提供したり、漁協に軽トラックを提供したり、鎮魂の鐘を製作したり等と振り返れば様々な復興に大きな貢献をしていると実感しております。大船渡市の復興計画骨子よると復興の基本的な考え方では、この類を

見ない災害を乗り越え、被災者が生活を再建するとともに、市民が幸せを感じ、誇りをもてる街として大船渡市が再生するためには、市民や企業、行政などの協働による取組を原動力にして、災害の経験と教訓を生かしながら、単なる復旧に止まらない、再び今回のような災害にあわない街づくりを推進しなければならないとされている。

現在、復興整備計画と復興整備協議会が設置されており、住民の意向を反映した構想で復興整備事業が実施されている状況です。しかしながら、被災した事業主の課題として今後、設備投資をして返済出来るのかとか、採算があうのか、事業承継の問題等色々な課題が山積とあり悩んで模索している不安な状態だと思います。今回のミーティングで会員の中からは、人が郊外から集まる町づくりをする。後継者は必ずしも子孫・身内とは限らず他人を考えると今の会社を存続できる。といった意見も出てきましたし、役所でも復興の担当者が他県から派遣されている人が行っているのも短期間で交代になってしまう。やはり、この町をよく知る地元出身者が担当してほしいとの要望もあった。

これから復興事業が速度を上げて進んで行くと思われませんが官民一体となって活性化した良い街作りを考え、将来人口が倍増するように期待します。

本日のメニュー :



冷やしワカメそば (スイカがあま〜い)
おにぎり 漬物